

第14回京都フィルムメーカーズラボ（KyotoFilmmakersLab 2021-22）結果報告

令和4年3月10日
京都文化博物館



▶東映チーム



▶松竹チーム

京都フィルムメーカーズラボ（以下、KFLと略称）は、国内・海外の若手映画製作者を対象にして、東映京都撮影所、松竹撮影所の各オープンセットを使い、短編時代劇作品を製作するワークショップである。時代劇セット、美術、照明、衣裳など本編映画と同じ施設・道具を使用し、京都伝統の本格的時代劇を体験する。またこれにより、内外の若手映画作家間のネットワーク形成を支援する。

14回目を迎えた今年も、昨年同様、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、「ハンズオン時代劇」は海外からの参加者を募ることはせず、国内在住者のみを対象として開催した。また、東京国際映画祭と共催になるレクチャー「マスターズセッション」は、現地京都での開催と並行して、オンラインで参加できるプログラムを設け、海外からの参加者を受け入れた。講義内容としては、ヴェネチア・ビエンナーレにおける、映画部門の人材育成プログラムとして位置づけられている、ビエンナーレ・カレッジ・シネマ（BCC）との提携が定着し、担当者がZoomを通して、国際映画祭が見出す作品の見せ方やBCCの方向性と応募方法についてプレゼンを行った。

ウェブ公募（2021年7月21日〔水〕～12月5日〔日〕）はハンズオン時代劇（対象は国内在住者のみ）、マスターズセッションは現地参加枠（対象は国内在住者のみ）とオンライン参加枠（対象は海外在住者）の3種に分けて応募を行なった。結果、ハンズオン時代劇は17名（うち国籍がスイス、スペイン、アメリカ含む）、マスターズセッションは計44名（海外18カ国から34名、日本在住10名）の応募があった。審査の結果、ハンズオン時代劇は16名（日本在住外国籍6名含む）、マスターズセッションでは43名（オンライン枠の海外在住者33名含む）が通過した。

なお、本来は2021年11月3日〔水・祝〕～7日〔日〕の開催だったが、新型コロナウイルス感染拡大の状況を鑑み、2022年1月26日〔水〕～30日〔日〕へ延期となった。それによって、募集期間も7月21日〔水〕～9月23日〔木・祝〕までだったが、締め切りを12月5日〔日〕まで延長することとした。

<ハンズオン時代劇>

安藤清人氏（照明監督／東映）、溝口豊氏（プロデューサー／松竹）監修のもと、ハンズオン形式による直接指導の時代劇製作を2022年1月26日〔水〕～1月28日〔日〕の3日間にわたって東映京都撮影所、松竹撮影所を会場に開催。

<マスターズセッション>

2022年1月29日〔金〕～1月30日〔日〕まで、京都文化博物館および旧武徳殿を会場に、殺陣の実技講座を含め11のセッションを開催（うち、【M3】カムバック・サーモン・プロジェクトについては、

後日 3 月 11 日に延期して開催した。詳細は【M12】を参照)。

なお、宿泊については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、例年の合宿形式は取りやめ、各自で手配とした。

主 催： 京都ヒストリカ国際映画祭実行委員会

[京都府、京都文化博物館、東映株式会社京都撮影所、株式会社松竹撮影所、株式会社東映京都スタジオ、巖本金属株式会社、株式会社ディレクターズ・ユニブ、立命館大学]

共 催： 第 34 回東京国際映画祭実行委員会、イタリア文化会館-大阪、KYOTO Cross Media Experience 実行委員会

協 力： 京都クロスメディア推進戦略拠点

1 参加者募集

期 間： 2021 年 7 月 13 日 [木] ～12 月 5 日 [日]

方 法： ウェブページからの申込み (3 分以内の自作サンプルをオンラインで提出)

応募件数： 61 名

国籍内訳：アメリカ 5 名、アメリカ/スイス 1 名、日本 16 名、韓国 2 名、フィリピン 12 名、スペイン 2 名、スイス 1 名、インド 9 名、イラン 1 名、ロシア 1 名、シンガポール 1 名、イギリス 1 名、カザフスタン 1 名、台湾 1 名、メキシコ 1 名、ネパール 3 名、バングラデシュ 1 名、タイ 1 名、カナダ 1 名

2 参加者審査

審査日： 2021 年 12 月 18 日 [土]

会 場： 京都文化博物館 7 階会議室

審査員： 高橋剣氏 (東映京都撮影所)、永島聡氏 (松竹撮影所)

審査通過：59 名(ハンズオン時代劇 16 名、マスターズセッション 10 名、マスターズセッションオンライン 33 名)

内 訳：

現地参加 (ハンズオン時代劇 16 名+マスターズセッション 10 名)：

- ・日本人 16 名、日本在住外国人 10 名
- ・男性 17 名、女性 9 名

オンライン参加：

- ・16 の国と地域から外国人 33 名
- ・男性 20 名、女性 13 名
- ・実際参加数(現地参加者)：ハンズオン時代劇 14 名、マスターズセッション 7 名

3 シナリオ選考コンペ、監督選考ならびに参加者撮影担当割り振り

シナリオ選考コンペと採用シナリオについて：

- ・参加者から、3 分を目処に作品シナリオを公募した結果、13 本のシナリオの提出があった。
- ・内容、使用可能なセット、俳優等の条件から、以下のシナリオを選出。

『莫逆の敵』 作：坂本典子 (東映チーム)

『父と子』 作：舟崎泉美 (松竹チーム)

ハンズオン時代劇の参加者は上記審査会での評価点上位 20 名とし、評価点と参加者の希望を勘案して各担当を割り振った。

【東映チーム】

スーパーヴァイザー：安藤清人氏（照明監督）

緒方一智（監督）、Kirk Martin Emma Teresa（撮影）、押尾郁弥（助監督）、坂本典子（助監督）、唐鎌凜（録音）、Lee Alexander（美術）、Arjona Adrian（照明）、宮本万里（製作）

*美術の Lee Alexander は事情によりキャンセル

【松竹チーム】

スーパーヴァイザー：溝口豊氏（プロデューサー）

菅原稜祐（監督）、Law Chester（撮影）、舟崎泉美（助監督）、Martin Anne（照明）、泉原豊（録音）、森実知子（美術）、荒井智晴（製作）

【マスターズセッションからの参加者】

Melvin Pattern（インド）、Farid Ben Amor（アメリカ／スイス）、Rob Perez（フィリピン）、Shaye Schumaker（アメリカ）、上田勝彦、吉田雅一、井上穂乃香（日本）

<オンライン参加> Moeinoddin Jalali(イラン)、Ferdinand Lavin Jr.(フィリピン)、Noah del Rosario(フィリピン)、Grigory Kolomytsev(ロシア)、Zachary Yap(シンガポール)、Funke Alafiatayo(イギリス)、Aakash Chhabra(インド)、Kyung Sok Kim(韓国)、Anirban Dutta(インド)、Diana Ashimova(カザフスタン)、Weng Yu Tong(台湾)、Madurwar Ashish(インド)、Richard Legaspi(フィリピン)、Vanessa Macedo(アメリカ)、Arturo Bolio(メキシコ)、Hyash Tanmoy(インド)、Arjun Karki(ネパール)、Khanjan Kishore Nath(インド)、Michael Angelo Dagsaan(フィリピン)、Cheska Marfori(フィリピン)、Snigdha Sharma(インド)、M.M. Shahria(バングラデシュ)、Aim-ei Polpitak(タイ)、Prahas Nair(インド)、Magoncia Jeremiah(フィリピン)、Vivian Davidson(カナダ)、Megan Louise Hernandez(フィリピン)、Dennize Jem Basa(フィリピン)、Nawa Bijaya Shrestha(ネパール)、Ashma Pokharel(ネパール)、Andrei Karoly Hernandez /Amaya Han(フィリピン)、Marcial III Tarnate(フィリピン)、Nithin Lukose(インド)

4 京都フィルムメーカーズラボ・日程

■ハンズオン時代劇

会場：東映京都撮影所、松竹撮影所、京都文化博物館

2022年1月26日 13:00～

【H1】全体オリエンテーション 会場：東映京都撮影所

参加者、撮影所スタッフそれぞれの自己紹介およびラボ全体の概要と、移動・宿泊やその他注意点などを説明。（参加者数：4カ国14名）



14:00～

【H2】プリプロダクション 会場：東映京都撮影所、松竹撮影所

東映チーム・松竹チームに分かれ、使用スタジオ、セット等を確認後、撮影・演出プランの打合せを行う。（参加者数：4カ国14名）



1月27日、28日 9:00~18:00

【H3~H4】ハンズオン時代劇・短編時代劇撮影

会場：松竹撮影所・東映京都撮影所

東映チーム・松竹チームに分かれ、2日間で作品撮影。(参加者数：4カ国14名)



■マスタース・セッション

会場：東映京都撮影所、松竹撮影所、京都文化博物館、旧武徳殿

1月28日 14:00~

【M1】ハンズオン時代劇撮影見学会

会場：東映京都撮影所、松竹撮影所

ハンズオン時代劇の撮影現場を、マスターズセッションからの参加者とマスコミ関係者等が見学。
(参加者数：5カ国7名)



1月29日 9:30~13:00 (+オンライン)

【M2】ライトニング・トーク 京都文化博物館 6階和室

KFL参加者による自己紹介。自身の実績、次回のプロジェクト、夢など。(参加者数：18カ国60名、うちオンライン15カ国33名)



14:30~15:30 (+オンライン)

【M3】京都の映画史・映画文化について 会場：京都文化博物館 6階和室

カムバック・サーモン・プロジェクトを開催予定だったが、登壇者さかはらあつし氏急病のためキャンセルとなり、急遽内容を変更したもの。京都文化博物館の森脇清隆による戦前~現代にかけての時代劇作品の流れを追う講義(参加者数：18カ国60名、うちオンライン15カ国33名)



16:00~17:00 (+オンライン)

【M4】ぴあフィルムフェスティバル セミナー 会場：京都文化博物館 6階和室

ぴあフィルムフェスティバル(PFF)のディレクター、荒木啓子氏による講演。PFFの歴史と意義、また求める作家についてのトーク。(参加者数：18カ国60名、うちオンライン15カ国33名)



17:30~18:30 (+オンライン)

【M5】ビエンナーレ・カレッジ・シネマ・トーク 会場：京都文化博物館 6階和室

ビエンナーレ・カレッジ・シネマのサヴィーナ・ネイロッティ氏による、ヴェネツィア国際映画祭が行う若手映画作家育成事業についてのトーク。(参加者数：18カ国55名、うちオンライン15カ国33名)



19:30~20:30

【M6】殺陣講座 会場：旧武徳殿(京都市武道センター)

東映京都撮影所殺陣師による、京都の殺陣の精神とスタイルのレクチャーと実演。(参加者数：6カ国21名)



1月30日

10:30~11:30 (+オンライン)

【M7】ヒストリカ大喜利 夢を語れ 京都文化博物館 6階和室

TIFF セミナーを開催予定だったが、ゲストの市山尚三氏が急病のためキャンセルとなり、急遽内容を変更したもの。自分の好きな時代劇を参加者に挙げてもらいながら、これからの時代劇、新しい時代劇とはどういうものかを議論。(参加者数：18カ国 55名、うちオンライン 15カ国 33名)



13:00~14:00 (+オンライン)

【M8】HISTRICA × XR 京都文化博物館 別館ホール

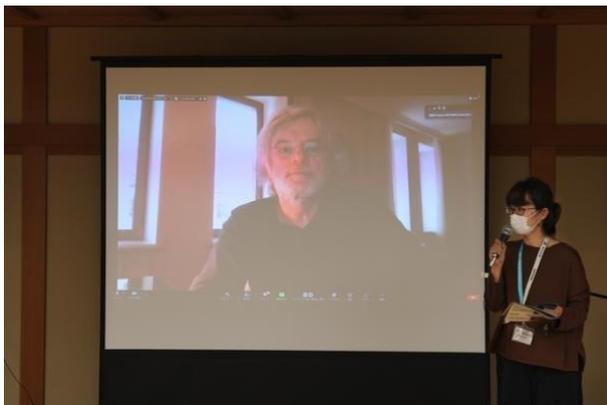
「3D アセットは時代劇を変えるか？」をテーマに株式会社スローネ代表 VFX プロデューサーの結城崇史氏と、東映京都撮影所で“まるデジプロジェクト”担当の高橋剣氏による「インカメラ VFX がもたらす新たな映像制作の可能性」と題した講演。(参加者数：18カ国 55名、うちオンライン 15カ国 33名)



15:00~16:00 (+オンライン)

【M9】 ケベック州連携マスターズ・トーク by フランソワ・ジラルル 京都文化博物館 6階和室

京都府×ケベック州友好提携5周年を記念した企画。ケベック州出身で『レッド・バイオリン』(1998年)京都ヒストリカ国際映画祭でも上映された『シルク』(2007年)の監督であり、シルク・ドゥ・ソレイユの演出をはじめ、日本でも舞台演出経験のある、フランソワ・ジラルル監督から、自分のキャリア形成の過程から、若手映画作家へのアドバイスをいただく。(参加者数:18カ国55名、うちオンライン15カ国33名)



16:30~17:30 (+オンライン)

【M10】 マスターズ・トーク by 大友啓史 京都文化博物館 6階和室

日本の時代劇映画の革新的作品として代表される「るろうに剣心」シリーズの監督である大友啓史氏から、これまでのキャリア形成の過程と、若手へのアドバイス、自身のスタンスについてのトーク。(参加者数:18カ国55名、うちオンライン15カ国33名)



18:00~19:00

【M11】 Hands-on ラッシュ上映+クロージング

京都文化博物館 6階和室

Hands-on 時代劇で撮影された内容のラッシュ上映と京都ヒストリカ国際映画祭を含めたクロージングセレモニー。(参加者数：6カ国50名)



3月11日

19:00~20:00 (オンラインのみ)

【M12】カムバック・サーモン・プロジェクト：Zoomによるオンラインでの開催。

過去のKFL参加者であるさかはらあつし（映画監督、KFL2010年参加者）のキャリア及び今後についてのトーク。1月29日に開催予定だったセッションの振替として開催。（参加者数：7カ国11名）



■京都フィルムメーカーズラボ+マスターズセッション・オンライン・ワークスペース

<KyotoFilmmakersLabhq.slack.com>

アプリ：Slack

オンラインでプリプロ打合せ、マスターズセッション講座事前説明、質問、討論。

（交流メッセージ数 2,409 件）